

(法第10条第1項関係様式例)

2014年度事業報告書

成立から2015年3月31日まで

特定非営利活動法人

フードバンク北九州ライフアゲイン

1 事業成果

H26年10月、NPO法人の認証を受け、本格的な活動を開始し、主な活動としてまず環境的側面より“食品ロス削減”をテーマとして8月より県の外郭団体である福岡県リサイクル総合事業化センターのサポートを受け、北九州市立大学と連携した「食品ロス削減研究会」が発足した。この発足によって、企業訪問がスムーズに進み新規食品提供企業を開拓することができた。また北九州市立大学との連携で「食品ロス削減学生プロジェクト」がスタートし、広報活動および地域との協働が活発に行える環境の一つが整えられた。また、福祉的側面においては生活困窮者を支援する福祉施設を訪問してフードバンク事業を理解していただいたり、講演活動を行う中で、配達施設を64施設まで増やすことができ、事業発展の目安である会員数も倍増し今後の発展につなげていける人材発掘が期待できるようになった。

	2013年度		目標	2014年度	
				実績	
食品提供企業	1社	→	6社	10社+個人14人	
食品取扱量	10トン	→	20トン	26トン(家庭系0.9t)	
会員数	94名	→		230人	
CO2排出量	14トン削減	→		36.4トン削減	
ボランティア数	約10名	→		約30名	
配給先	20か所	→		64か所	

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)		
フードバンク事業 (A)	食品関連業者及び個人から余剰食糧を回収し、提供された食品を社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体および生活困窮者個人に提供する	月～金	県内	25名	施設64 個人21世帯	322.89		
				3名			千鳥饅頭	10/9
							明月堂	10/14
							久原本家	10/16
							アサヒ飲料	10/17
							三井食品	10/23

<p>の発展に欠かせない環境整備↓各種書類の整備</p> <p>トレーサビリティの構築及び倉庫、配達拠点などフードバンク事業</p>	一番食品	10/28	<p>県内</p>	<p>5名</p>	
	マルタイ	10/30			
	やきやま	11/20			
	いなだ豆	11/21			
	リョーユーパン	11/26			
	山崎パン	12/2			
	セリアロイル	12/12			
	コカ・コーラー	12/16			
	デリバリー記録表	<p>通年</p>	<p>県内</p>	<p>5名</p>	
	在庫管理表				
	食品受払表				
	企業報告シート				
	配達の作成手順				
	配達の優先順位				
	出張旅費規定				
	物品購入規定				
	品質管理規定				
	出張命令兼旅費精算				
	経費精算書				
	伺書				
	個人食品配達表				
	食糧等の受渡合意書				
	食糧等の引渡合意書				
	個人配達者誓約書				
	食品取り扱いのお願い				
	個人配達訪問記録表				
	不在連絡表				
	ボランティア受付表				
<p>フードドライブを実施し、提供された食品を社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体および生活困窮者個人に提供する</p> <p>10/25 (土) 食品ロス削減シンポジウムにてフードドライブ開催</p>	10/25		7名		

定款の事業名	事業内容		実施日時	実施場所	従事者の人数	事業費の金額(千円)
行政及び社会的資源との協働事業 (B)	フードバンク事業を通して、行政や様々な社会資源と協働し、生活困窮者に対するセーフティネットを構築する	市庁舎を訪問し、関係部署と会合	1/27	北九州市 市庁舎	3名	1.84
		市庁舎を訪問し、関係部署と会合	2/10			

定款の 事業名	事業内容		実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
普及啓発 事業 (C)	講演会および事業説明会の実施	公明党北九州大会 にて事業説明をする	11/6 15:30	ウエル 戸畑 会議 室	1 名	9名	37.305
		芳賀財団助成金 表彰式にて事業説明	12/11 14:00	大谷 会館	1 名	出席者 50名程	
		北九州市立大学 三宅ゼミにて講演	1/5 13:30	北九州 市立大 学 小倉キ ャンパ ス	1 名	受講学生 30名程	
		北九州市立大学 環境関連講義にて 講演(2コマ)	1/28 13:30	北九州 市立大 学 若松キ ャンパ ス	1 名	受講学生 200名 程	
	NPO 法人認証記念 《食品ロス削減シンポジウム》を開 催 ・講演内容 1. 世界における子供の飢餓 日本国際飢餓機構 田村氏 2. 食品ロス削減に向けてNO-F OODLOSS PLO J E C T の 推 進 九州農政局 山野氏 3. サントリーグループのフードバ ンク活動 サントリー 森川氏 4. 子供の“貧困”食のセーフティネ ット事業 フードバンク山梨 米山氏 5 特別ゲスト ふるさと料理人：藤清光先生 5. 私たちが目指す方向 フ		10/25	ウエ ル戸 畑 多目 的ホ ール	1 8 名	食品ロス削減及 びフードバン ク事業に関心 のある方々 130名	

	<p>ードバンク北九州ライフアゲ イン 原田代表</p> <p>・結果 98%の方から、良かったとの評 価をいただいた。</p>					
ニ ュ ー ス レ ター を 発 行	第1号を発行 事業の紹介や組織体 制 など、団体紹介を中心 にした内容	10月 初旬	県内	3名	フードバンクサ ポーター300名 食品ロス削減及 びフードバンク 事業に関心のあ る方々 100名	
	第2号を発行 初年度の活動報告を 中心にした内容	2月 中旬		4名		
イ ベ ン ト 開 催	研究会メンバーと学 生との検討会	1回 /月 ×5	小倉北 まなびとス テーション	12名 ×5回 60名		
	食品ロス削減アクテ ィビティ開催	11/30	小倉北 まなびとス テーション	34 名		
	フードバンク活動体 験学習	2/10		15 名		

(2) その他の事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費 の金額 (千円)
物品販売 (D)	八幡起業祭 出店販売 あんくるカレー/オリジナル七味	11/1	八幡東区 中央町商店街	20名	151.681